



2017年3月期第2四半期 決算説明資料

株式会社ユー・エス・エス
2016年11月

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の基となる前提や予測を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、表示単位未満の端数を切捨ててして表示しております。
- 本資料の百分率（％）は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

2016年3月期第3四半期連結会計期間の末日をみなし取得日として連結の範囲に追加した(株)ジャパンバイクオークションは、本資料において「JBA」と表示しております。

出所

(一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会、
(公財) 自動車リサイクル促進センター、(株)ユーストカー、財務省貿易統計

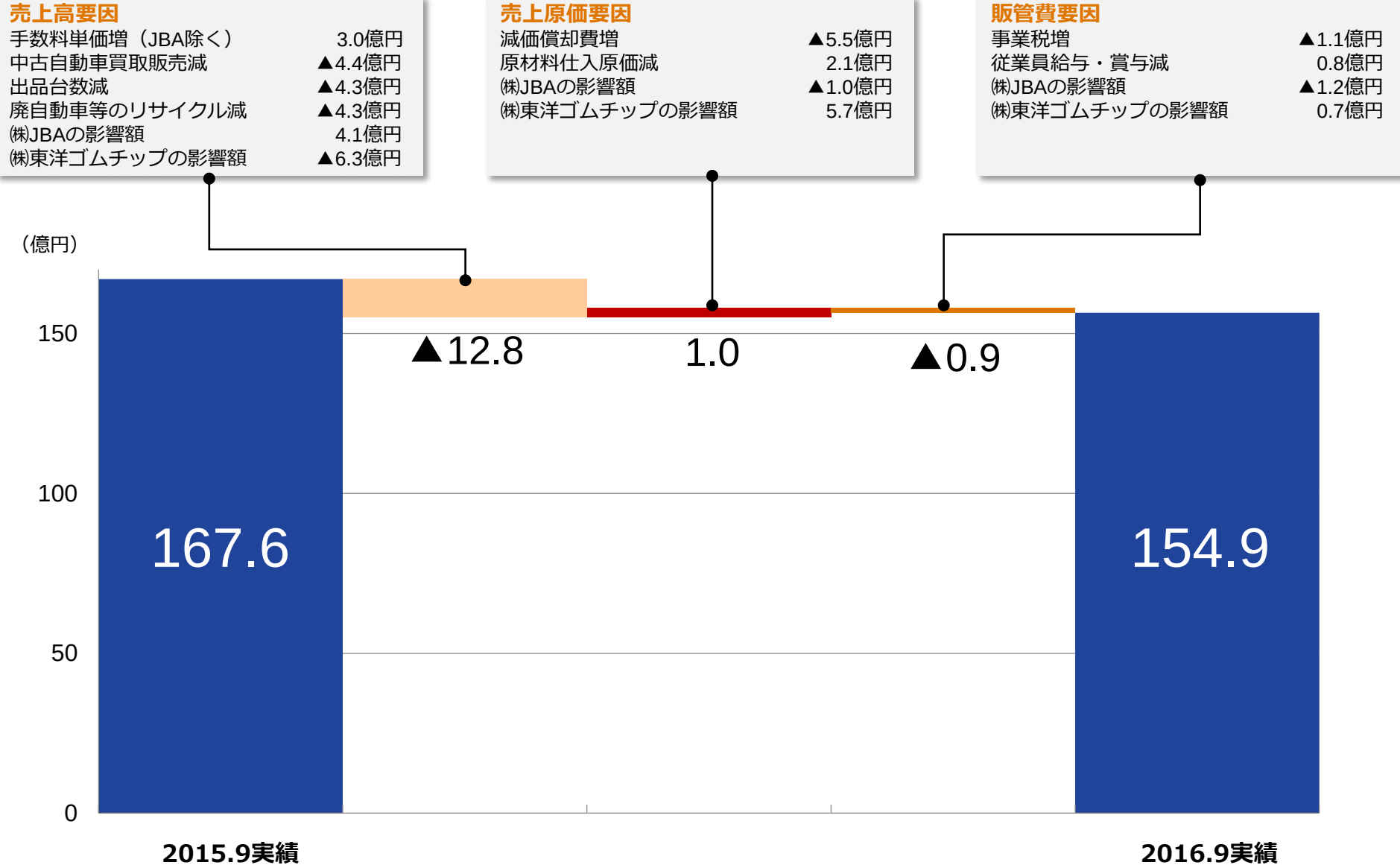
2017年3月期 第2四半期連結業績の概要

- 第2四半期の売上高は323.5億円（前年同期比3.8%減）、営業利益は154.9億円（前年同期比7.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は108.4億円（前年同期比4.0%減）。
- 昨年7月に実施した、衛星TV、インターネットの落札手数料値上げとJBAの新規連結による増益効果はあったものの、オートオークション出品・成約台数の減少、減価償却費の増加等の減益要因が上回った。

（単位：百万円）

	2015.9	2016.9実績	前年同期比	2016.9当初計画 5/9発表	計画比
売上高	33,643	32,355	96.2%	34,750	93.1%
売上原価 (売上比)	12,917 (38.4%)	12,809 (39.6%)	99.2%	13,422 (38.6%)	95.4%
売上総利益 (売上比)	20,725 (61.6%)	19,546 (60.4%)	94.3%	21,327 (61.4%)	91.6%
販売費及び一般管理費 (売上比)	3,962 (11.8%)	4,056 (12.5%)	102.4%	4,427 (12.7%)	91.6%
営業利益 (売上比)	16,763 (49.8%)	15,490 (47.9%)	92.4%	16,900 (48.6%)	91.7%
経常利益 (売上比)	17,106 (50.8%)	15,805 (48.8%)	92.4%	17,200 (49.5%)	91.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上比)	11,292 (33.6%)	10,840 (33.5%)	96.0%	11,600 (33.4%)	93.5%

2017年3月期第2四半期 営業利益増減分析（実績）



(単位：百万円)

売上高	2014.9	2015.9	2016.9	前年同期比
オートオークション	23,958	25,201	25,378	100.7%
中古自動車等買取販売	4,814	4,883	4,571	93.6%
その他	3,480	3,558	2,405	67.6%
合計	32,254	33,643	32,355	96.2%
営業利益（営業利益率）	2014.9	2015.9	2016.9	前年同期比
オートオークション	15,057 (62.0%)	16,124 (63.2%)	15,129 (59.1%)	93.8%
中古自動車等買取販売	179 (3.7%)	316 (6.5%)	169 (3.7%)	53.5%
その他	416 (12.0%)	211 (5.9%)	82 (3.4%)	38.8%
消去または全社	76	112	109	98.0%
合計	15,731 (48.8%)	16,763 (49.8%)	15,490 (47.9%)	92.4%

※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

- 第2四半期累計の設備投資は39億円（主にオートオークション会場への投資）。
- 自己株式取得74億円（436万株）。
- 自己資本比率は82.3%。
- フリーキャッシュ・フローは45億円の黒字。

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	2016.3	2016.9		2016.3	2016.9
流動資産	81,440	77,500	流動負債	25,937	25,805
現金及び預金	62,290	61,895	オークション借勘定	13,288	14,373
オークション貸勘定・他	19,149	15,605	その他	12,649	11,432
固定資産	105,391	107,412	固定負債	5,710	5,747
有形固定資産	96,101	98,323	負債合計	31,647	31,553
その他	9,289	9,088	純資産合計	155,183	153,360
資産合計	186,831	184,913	負債・純資産合計	186,831	184,913

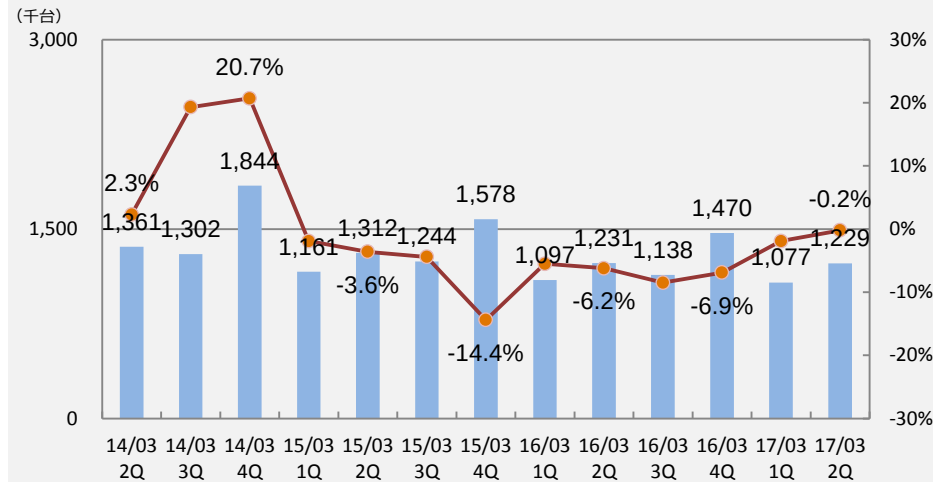
連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

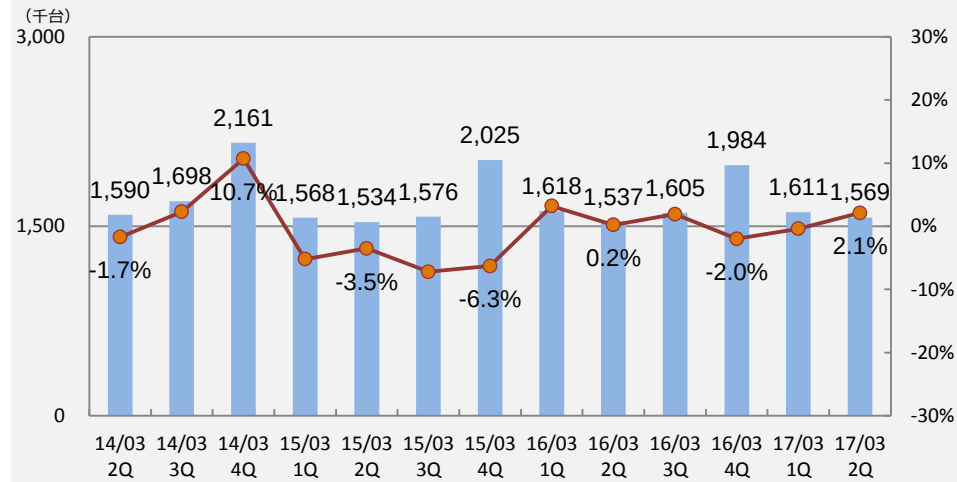
	2014.9	2015.9	2016.9	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,548	9,556	12,535	2,978
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲9,314	▲8,252	▲7,967	285
フリーキャッシュ・フロー	▲1,765	1,303	4,568	3,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲4,898	▲5,083	▲11,943	▲6,859
設備投資（支出ベース）	1,713	3,248	3,914	666
減価償却費	1,717	1,565	2,108	543

2017年3月期第2四半期の業界動向（グラフ）

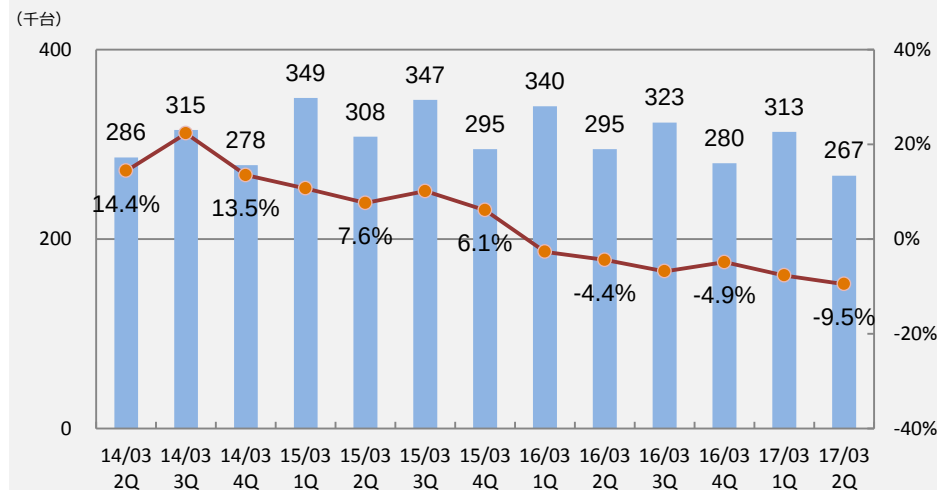
新車登録台数と前年同期比



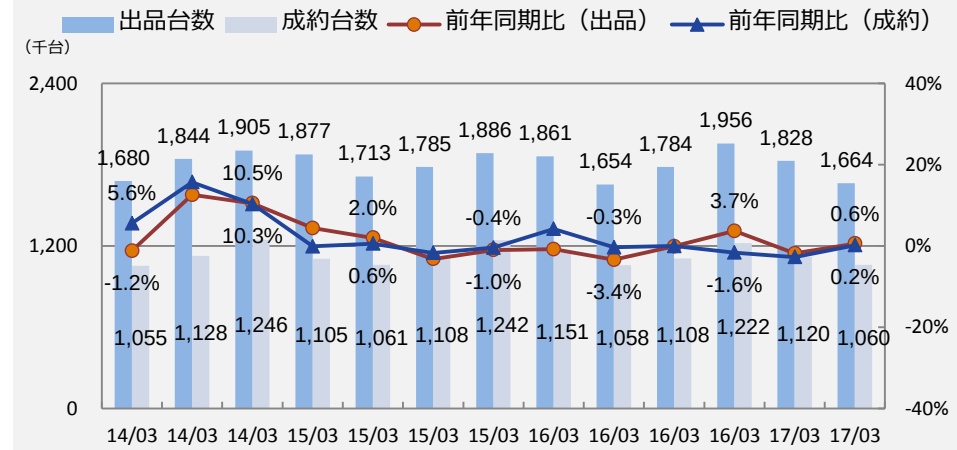
中古車登録台数と前年同期比



中古車輸出台数と前年同期比



AA市場 出品・成約台数と前年同期比



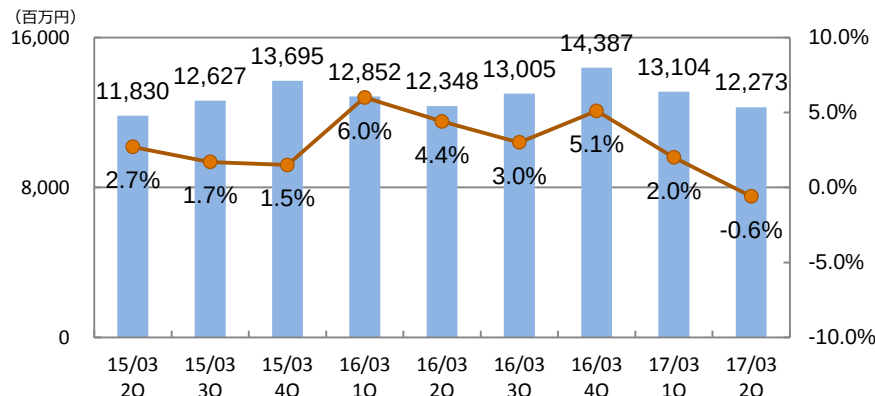
- 第2四半期累計の出品台数は112.3万台（前年同期比2.1%減）、成約台数は72.6万台（前年同期比3.7%減）、成約率は64.7%（前年同期実績65.8%）。
- 昨年7月に実施した、衛星TV、インターネットの落札手数料値上げとJBA新規連結により増収となったものの、出品・成約台数の減少、減価償却費の増加などにより減益。

オートオークションのセグメント第2四半期業績（累計）

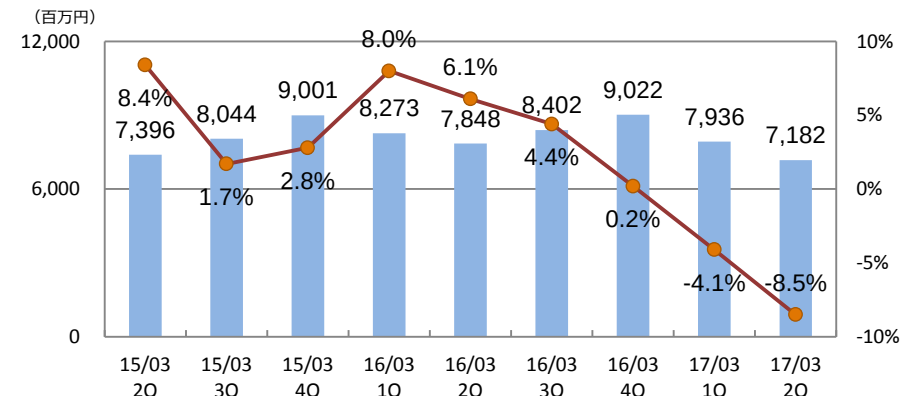
（単位：百万円）

	2014.9	2015.9	2016.9	前年同期比
売上高	23,958	25,201	25,378	100.7%
出品手数料	6,114	6,129	5,941	96.9%
成約手数料	5,661	5,944	5,780	97.3%
落札手数料	8,067	8,623	8,616	99.9%
その他	4,115	4,504	5,039	111.9%
営業利益	15,057	16,124	15,129	93.8%
営業利益率	62.0%	63.2%	59.1%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率

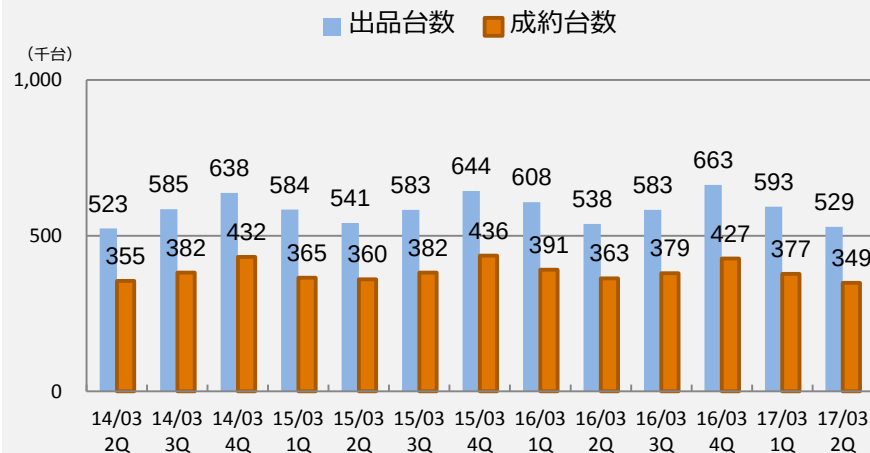


四半期営業利益推移と前年同期増減率

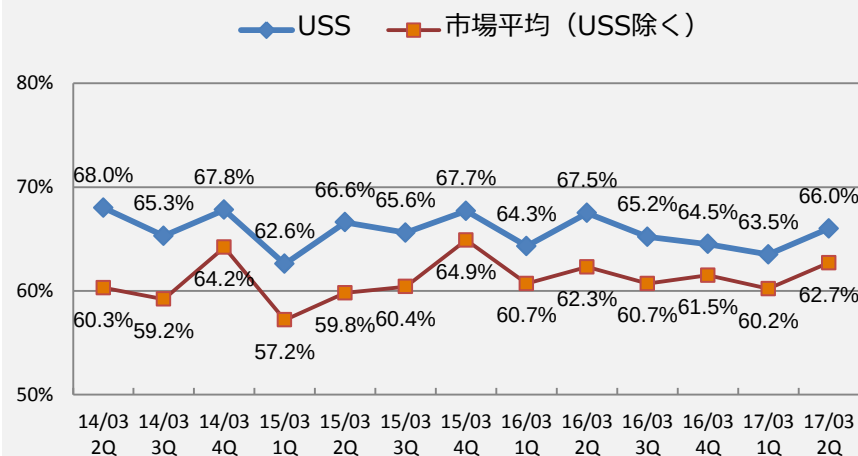


※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

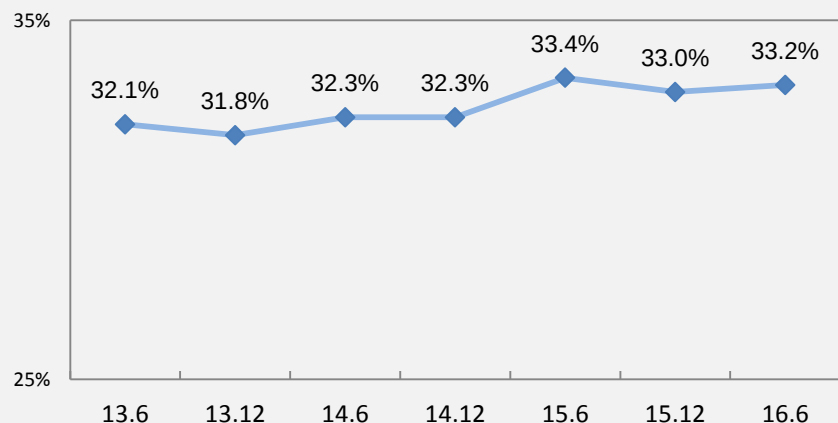
出品・成約台数の推移



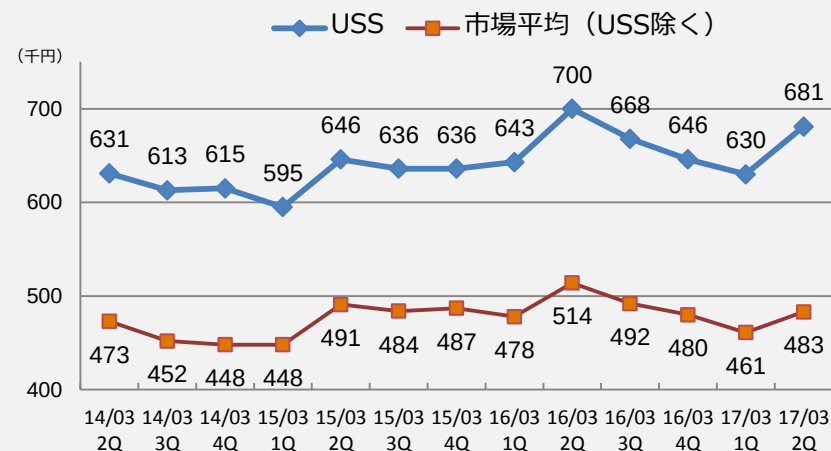
成約率の競合比較



出品台数市場シェアの推移

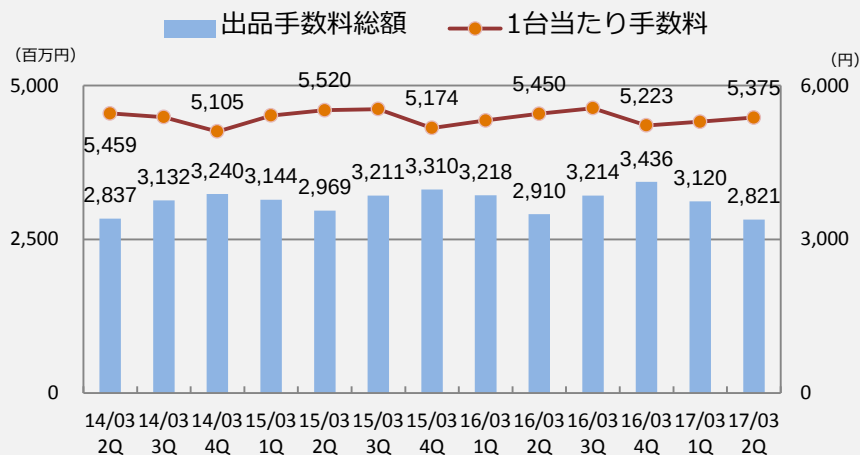


1台当たり成約車両金額の競合比較

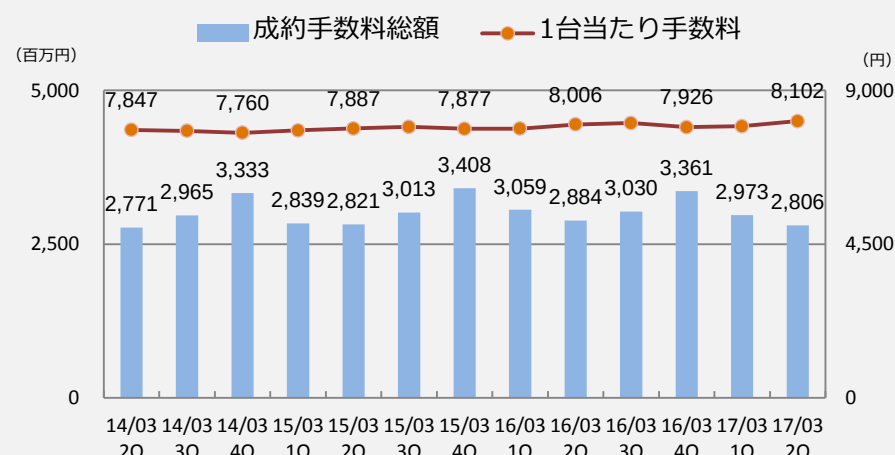


※12月期は暦年の、6月期は半年の数字を記載しております。
 ※JBAの実績は含めておりません。

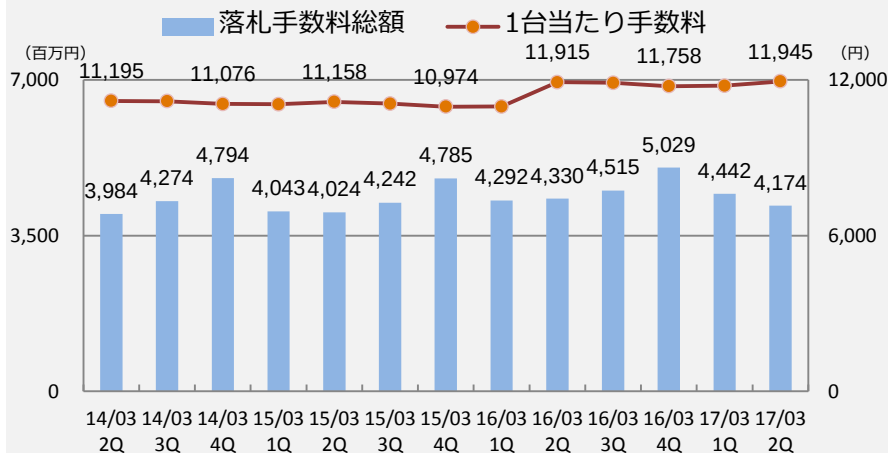
出品手数料総額と1台当たり手数料



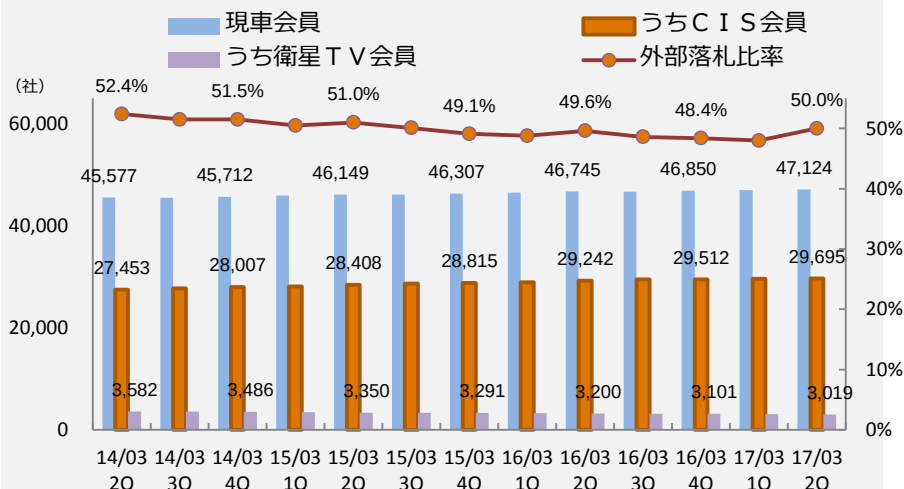
成約手数料総額と1台当たり手数料



落札手数料総額と1台当たり手数料



会員数と外部落札比率



※ 1台当たり手数料は、連結相殺前の数値をもとに算出しております。
 ※ JBAの実績は含めておりません。

2016年4月から9月までの6か月間

(単位：回、台)

	開催数		出品台数			成約台数			成約率	
	2015.9	2016.9	2015.9	2016.9	前年同期比	2015.9	2016.9	前年同期比	2015.9	2016.9
東京	24	24	313,960	305,204	97.2%	225,988	213,836	94.6%	72.0%	70.1%
名古屋	25	25	219,792	235,304	107.1%	136,740	138,431	101.2%	62.2%	58.8%
横浜	25	24	92,772	88,282	95.2%	62,404	60,792	97.4%	67.3%	68.9%
九州	25	24	94,157	76,857	81.6%	57,056	48,005	84.1%	60.6%	62.5%
札幌	25	24	71,033	66,691	93.9%	42,275	39,020	92.3%	59.5%	58.5%
R-名古屋	24	24	60,298	62,740	104.0%	51,384	51,636	100.5%	85.2%	82.3%
大阪	24	25	57,102	55,861	97.8%	35,536	33,509	94.3%	62.2%	60.0%
静岡	24	24	35,122	34,575	98.4%	20,422	20,800	101.9%	58.1%	60.2%
東北	26	24	33,513	33,128	98.9%	25,393	24,444	96.3%	75.8%	73.8%
岡山	24	24	33,609	31,728	94.4%	21,853	21,173	96.9%	65.0%	66.7%
神戸	26	25	29,667	30,748	103.6%	16,359	17,428	106.5%	55.1%	56.7%
群馬	24	24	31,054	28,280	91.1%	20,502	18,298	89.2%	66.0%	64.7%
埼玉	24	25	23,104	26,074	112.9%	12,885	15,393	119.5%	55.8%	59.0%
新潟	25	24	21,558	22,404	103.9%	10,655	10,362	97.3%	49.4%	46.3%
福岡	25	24	21,604	18,579	86.0%	9,506	9,328	98.1%	44.0%	50.2%
北陸	24	25	9,149	6,818	74.5%	5,731	4,370	76.3%	62.6%	64.1%
合計	394	389	1,147,494	1,123,273	97.9%	754,689	726,825	96.3%	65.8%	64.7%

※JBAの実績は含めておりません。

オートオークションのセグメント⑤

(単位：台、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
出品台数	2014年度	225,022	181,292	177,858	193,656	157,114	191,153	1,126,095	220,851	195,116	167,056	177,089	206,068	260,866	1,227,046	2,353,141
	増減率	6.8	7.1	▲0.1	8.8	▲2.9	4.2	4.1	4.3	▲6.2	0.9	▲0.1	2.1	0.5	0.3	2.1
	2015年度	240,027	180,560	188,060	198,744	143,557	196,546	1,147,494	221,602	188,116	173,302	179,967	208,405	275,123	1,246,515	2,394,009
	増減率	6.7	▲0.4	5.7	2.6	▲8.6	2.8	1.9	0.3	▲3.6	3.7	1.6	1.1	5.5	1.6	1.7
	2016年度	233,303	165,327	195,240	186,899	141,275	201,229	1,123,273	186,409						186,409	1,309,682
	増減率	▲2.8	▲8.4	3.8	▲6.0	▲1.6	2.4	▲2.1	▲15.9						-	-
成約台数	2014年度	134,692	115,560	115,299	125,786	104,082	130,918	726,337	146,176	127,786	108,731	121,659	142,503	172,041	818,896	1,545,233
	増減率	1.6	▲0.7	▲4.5	3.3	▲5.2	5.3	0.1	4.9	▲5.2	0.4	▲0.8	2.2	0.7	0.4	0.3
	2015年度	146,183	116,850	128,131	134,479	99,117	129,929	754,689	146,362	122,078	111,421	118,004	135,810	174,035	807,710	1,562,399
	増減率	8.5	1.1	11.1	6.9	▲4.8	▲0.8	3.9	0.1	▲4.5	2.5	▲3.0	▲4.7	1.2	▲1.4	1.1
	2016年度	140,412	109,067	127,811	122,962	93,386	133,187	726,825	121,245						121,245	848,070
	増減率	▲3.9	▲6.7	▲0.2	▲8.6	▲5.8	2.5	▲3.7	▲17.2						-	-
成約率	2014年度	59.9	63.7	64.8	65.0	66.2	68.5	64.5	66.2	65.5	65.1	68.7	69.2	65.9	66.7	65.7
	2015年度	60.9	64.7	68.1	67.7	69.0	66.1	65.8	66.0	64.9	64.3	65.6	65.2	63.3	64.8	65.3
	2016年度	60.2	66.0	65.5	65.8	66.1	66.2	64.7	65.0						-	-

※JBAの実績は含めておりません。

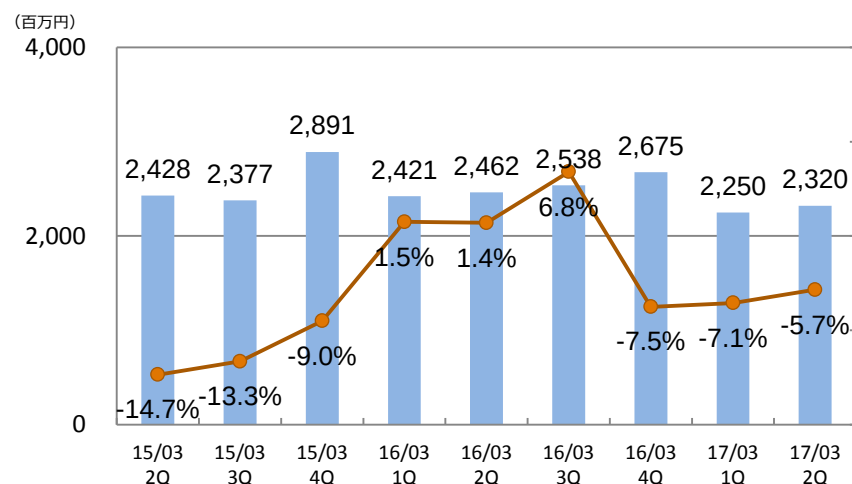
- 中古車買取専門店「ラビット」は、買取台数の減少などにより減収減益。
(売上高2,894百万円(前年同期比13.3%減)、営業利益132百万円(前年同期比53.8%減))
- 事故現状車買取販売事業は、取扱車両の価格上昇と営業経費減により増収増益。
(売上高1,677百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益36百万円(前年同期比24.5%増))

中古自動車等買取販売のセグメント第2四半期業績(累計)

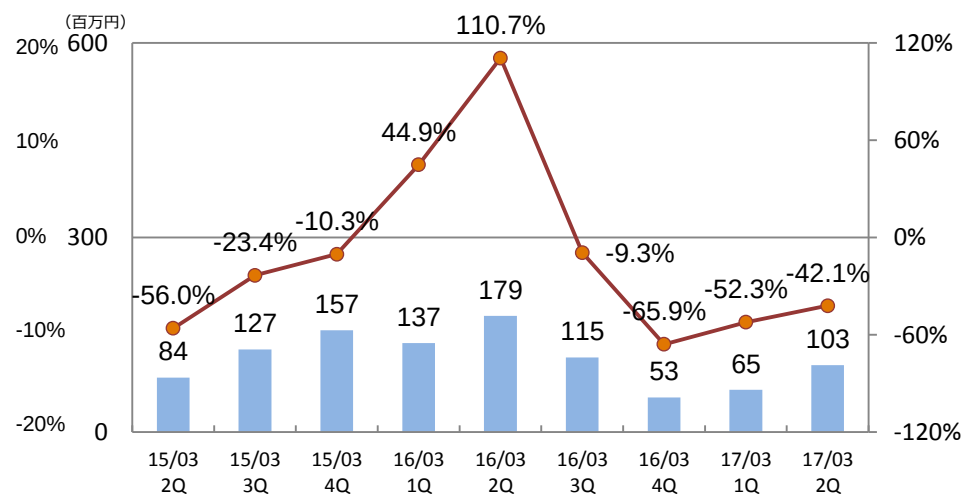
(単位: 百万円)

	2014.9	2015.9	2016.9	前年同期比
売上高	4,814	4,883	4,571	93.6%
営業利益	179	316	169	53.5%
営業利益率	3.7%	6.5%	3.7%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

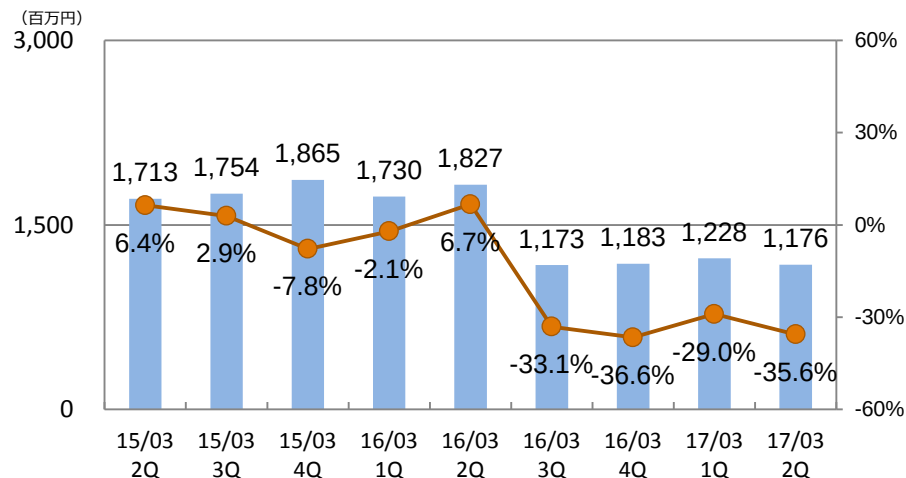
- リサイクル事業は、廃自動車取扱量の減少とスクラップ相場の低迷により減収減益。
(売上高2,155百万円(前年同期比16.7%減)、営業利益76百万円(前年同期比53.5%減))
- 中古自動車輸出手続代行サービス事業は、取扱台数の大幅減により営業損失。
(売上高198百万円(前年同期比30.8%減)、営業損失5百万円(前年同期実績営業利益43百万円))

その他のセグメント第2四半期業績（累計）

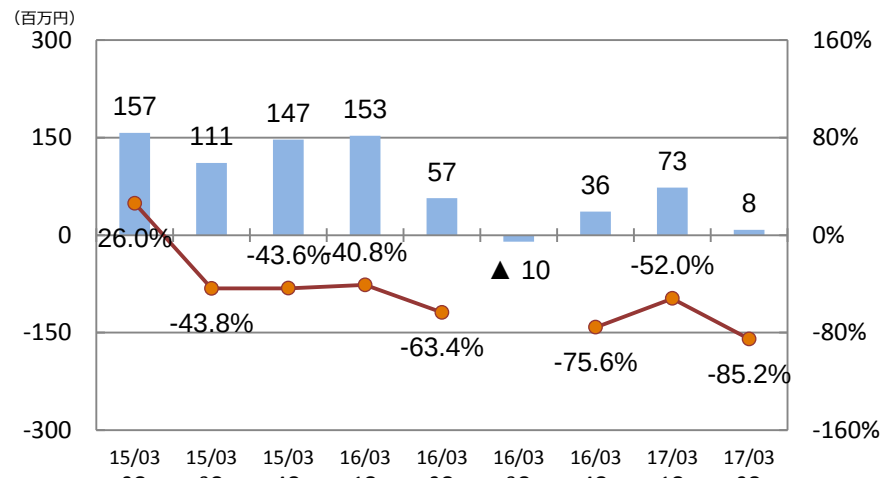
（単位：百万円）

	2014.9	2015.9	2016.9	前年同期比
売上高	3,480	3,558	2,405	67.6%
営業利益	416	211	82	38.8%
営業利益率	12.0%	5.9%	3.4%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

2017年3月期 通期連結業績予想

■新車登録台数（供給サイド）、中古車輸出台数（需要サイド）ともに下期も不透明な状況が続く見込み。

■オートオークション出品・成約台数の見通しを引き下げ、通期業績予想を下方修正。

（単位：百万円）

	2016.3（実績）	2017.3当初計画 5/9発表	修正額	2017.3修正計画 11/7発表	修正計画／前期比
売上高	68,607	71,450	▲4,650	66,800	97.4%
売上総利益 （売上比）	42,740 (62.3%)	43,835 (61.4%)	▲3,645	40,189 (60.2%)	94.0%
営業利益 （売上比）	34,491 (50.3%)	34,700 (48.6%)	▲3,000	31,700 (47.5%)	91.9%
経常利益 （売上比）	35,218 (51.3%)	35,300 (49.4%)	▲3,000	32,300 (48.4%)	91.7%
親会社株主に帰属する当期純利益 （売上比）	22,477 (32.8%)	23,800 (33.3%)	▲1,600	22,200 (33.2%)	98.8%
1株当たり当期純利益（円）	86.92	93.54	-	87.24	100.4%
設備投資(支出ベース)	8,731	10,196	▲2,196	8,000	91.6%
減価償却費	3,325	4,763	▲173	4,589	138.0%

（単位：千台）

	2016.3（実績）	2017.3当初計画 5/9発表	修正額	2017.3修正計画 11/7発表	修正計画／前期比
出品台数	2,394	2,500	▲200	2,300	96.1%
成約台数	1,562	1,600	▲110	1,490	95.4%
成約率	65.3%	64.0%	-	64.8%	-

2017年3月期下期 営業利益増減分析（予想）

売上高要因

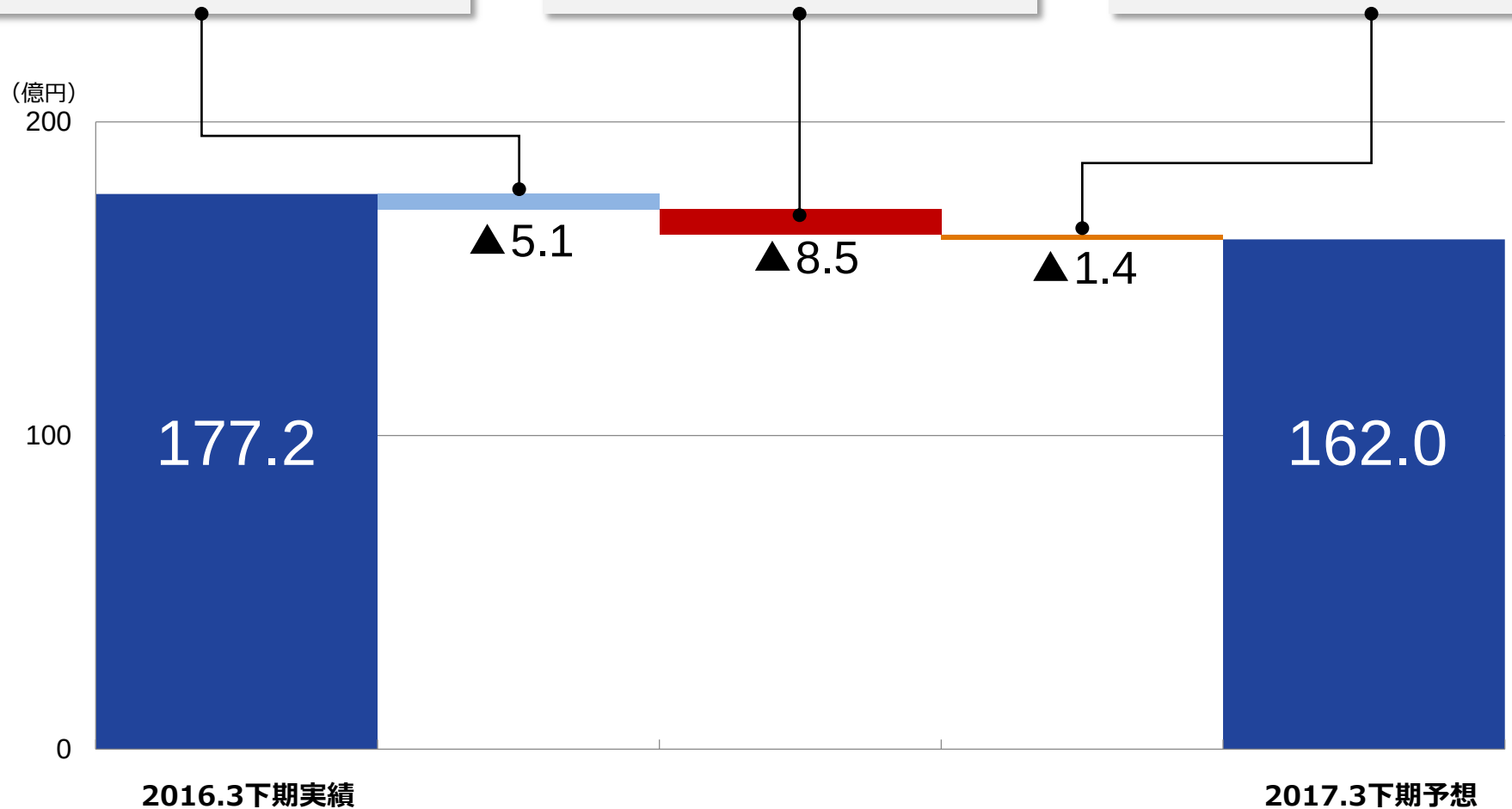
出品台数減	▲12.6億円
CIS(インターネット)収入増	3.7億円
廃自動車等のリサイクル増	2.2億円
(株)JBAの影響額	1.8億円

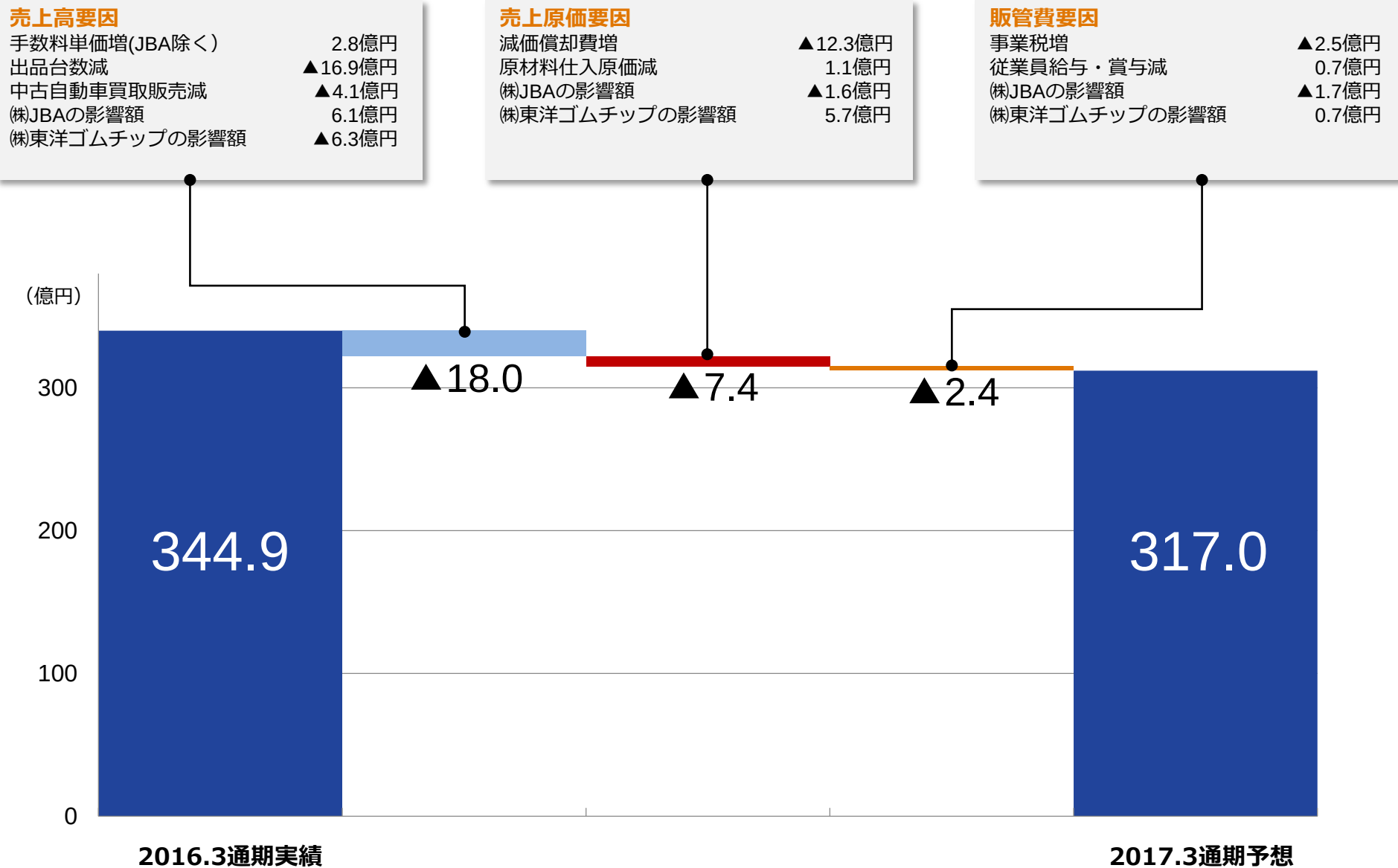
売上原価要因

減価償却費増	▲6.7億円
原材料仕入原価増	▲0.9億円
(株)JBAの影響額	▲0.7億円

販管費要因

事業税増	▲1.3億円
(株)JBAの影響額	▲0.5億円



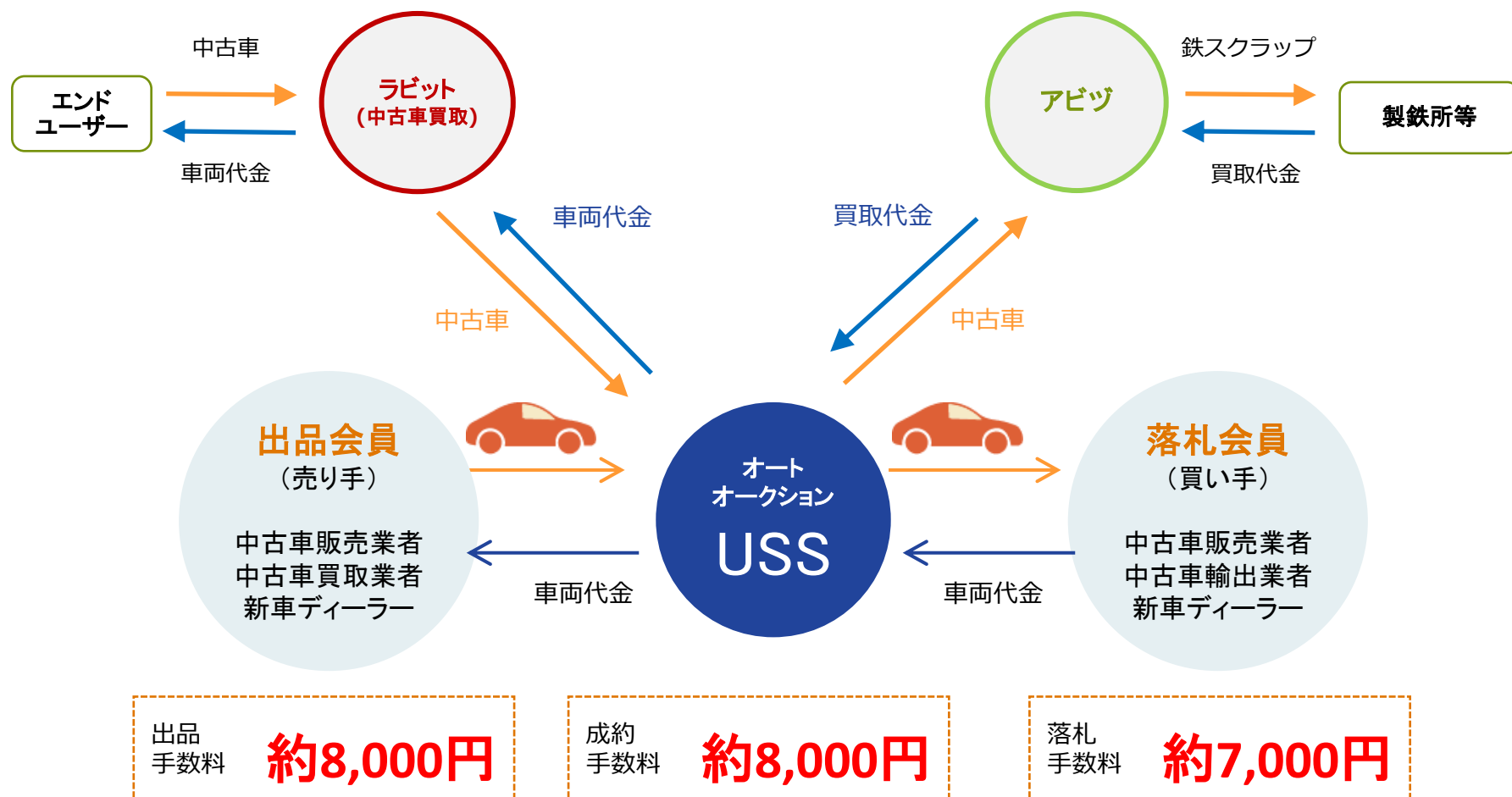


- 中古車買取販売台数の減少、スクラップ相場の低迷継続を反映し、中古自動車等買取販売、その他のセグメントも下方修正。

(単位：百万円)

	2016.3 (実績)	2017.3当初計画 5/9発表	修正額	2017.3修正計画 11/7発表	修正計画／前期比
売上高					
オートオークション	52,594	55,047	▲3,050	51,996	98.9%
中古自動車等買取販売	10,097	10,819	▲973	9,845	97.5%
その他	5,915	5,583	▲625	4,957	83.8%
合計	68,607	71,450	▲4,650	66,800	97.4%
営業利益 (売上比)	34,491 (50.3%)	34,700 (48.6%)	▲3,000	31,700 (47.5%)	91.9%

市場環境認識と 中期的な価値創造に向けた戦略

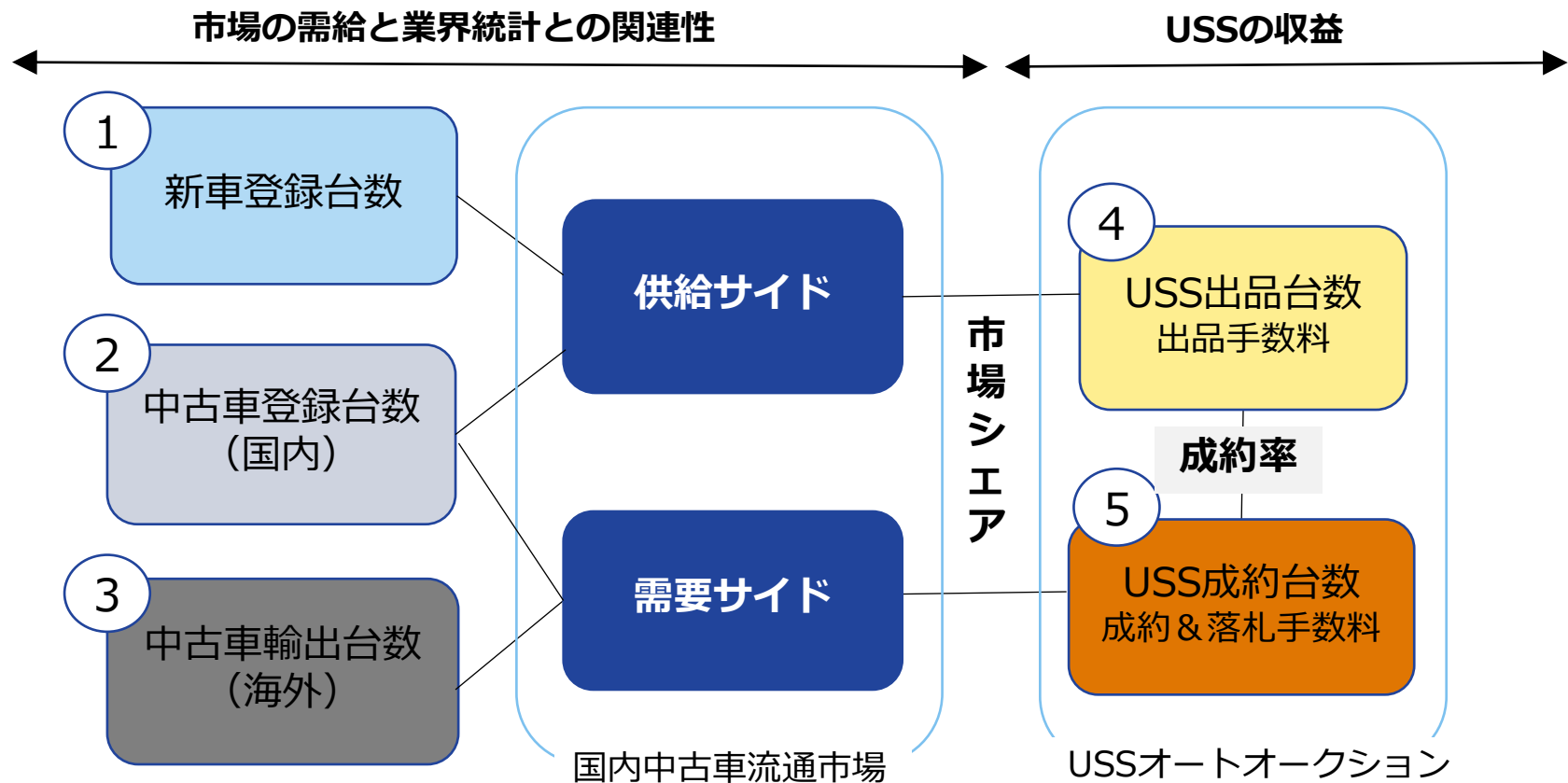


年間出品台数 **239万台**
(2016年3月期実績)

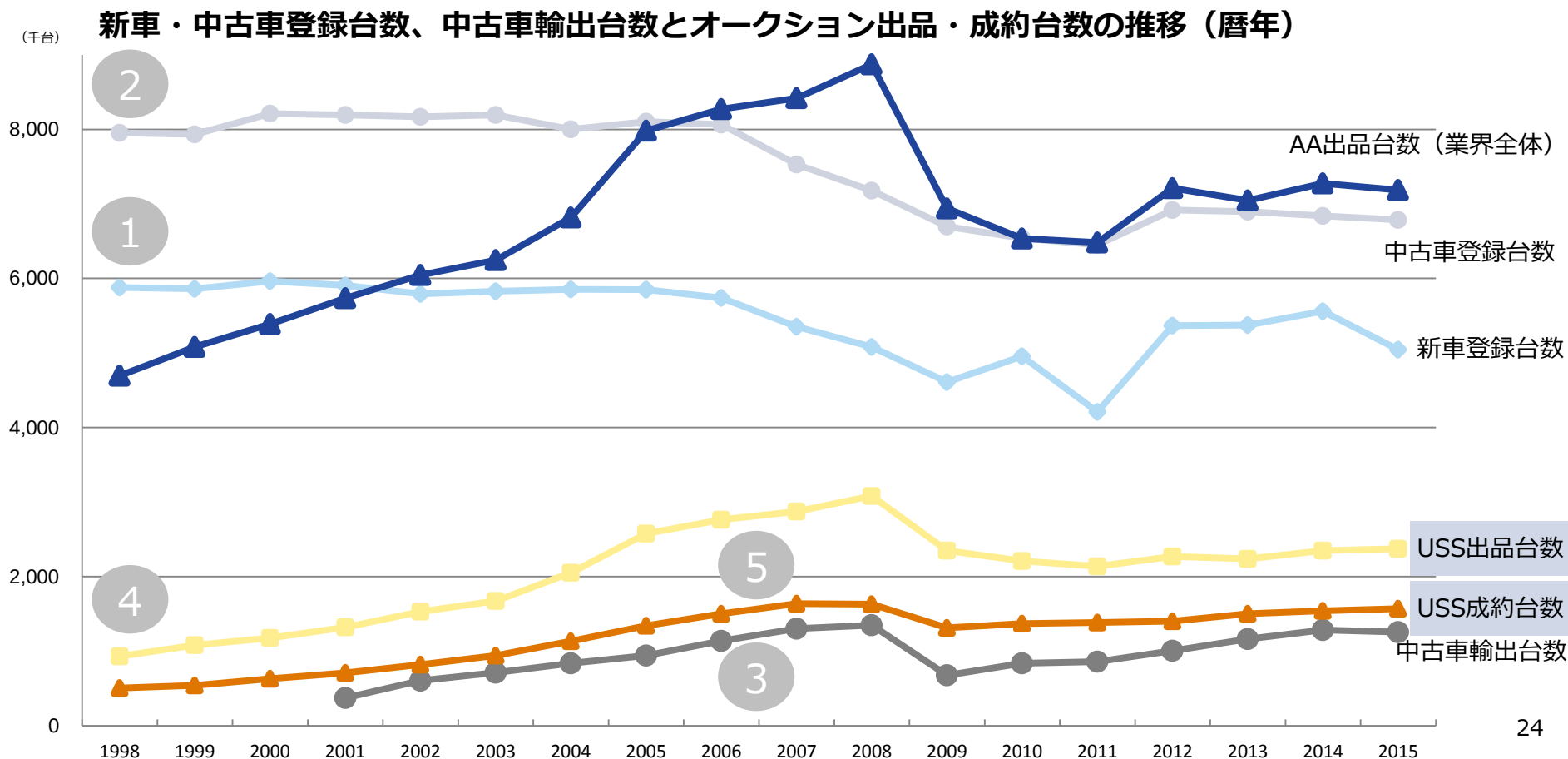
1台の成約につき
USSへの手数料 **約23,000円**

成約率 **65.3%**
(2016年3月期実績)

- オートオークション市場への中古車供給台数は、下取りを通して①新車登録台数と②中古車登録台数に連動。
- 需要サイドは国内外の中古車需要（②③）であり、近年は海外（輸出）が牽引。
- 上記市場要因に加え、オートオークション市場における市場シェア及び成約率が、USSオートオークションの収益変動要因となる。



- 2000年頃までは中古車流通におけるオークション利用率上昇により、オートオークション市場が拡大。
2000年代半ば以降は、低年式・多走行車などそれまで解体されていた車両がオートオークション会場へ流入し、オークション出品台数の増加が続いた。
- 金融危機（2008年後半）以降のオートオークション市場は新車登録台数（供給）と中古車輸出台数（需要）におおむね連動。➡ **2014年以降、両者とも減少傾向に。**



- 業界最大手**（出品台数市場シェア：33.2%（2016年上期実績））
 - 全国に17会場を展開、会員数4.7万社
- 特に**東京会場（国内最大）、名古屋会場（同3位）**は高い競争力
- 衛星TV、インターネットを通じた外部落札システムも充実
- 継続的な最新設備の投資に耐える**強固な財務体質**
（自己資本比率82.3%）



良質な中古車がUSSに集まる
→業界平均に対して高い成約率を維持
（成約台数市場シェア：34.4%（2016年上期実績））

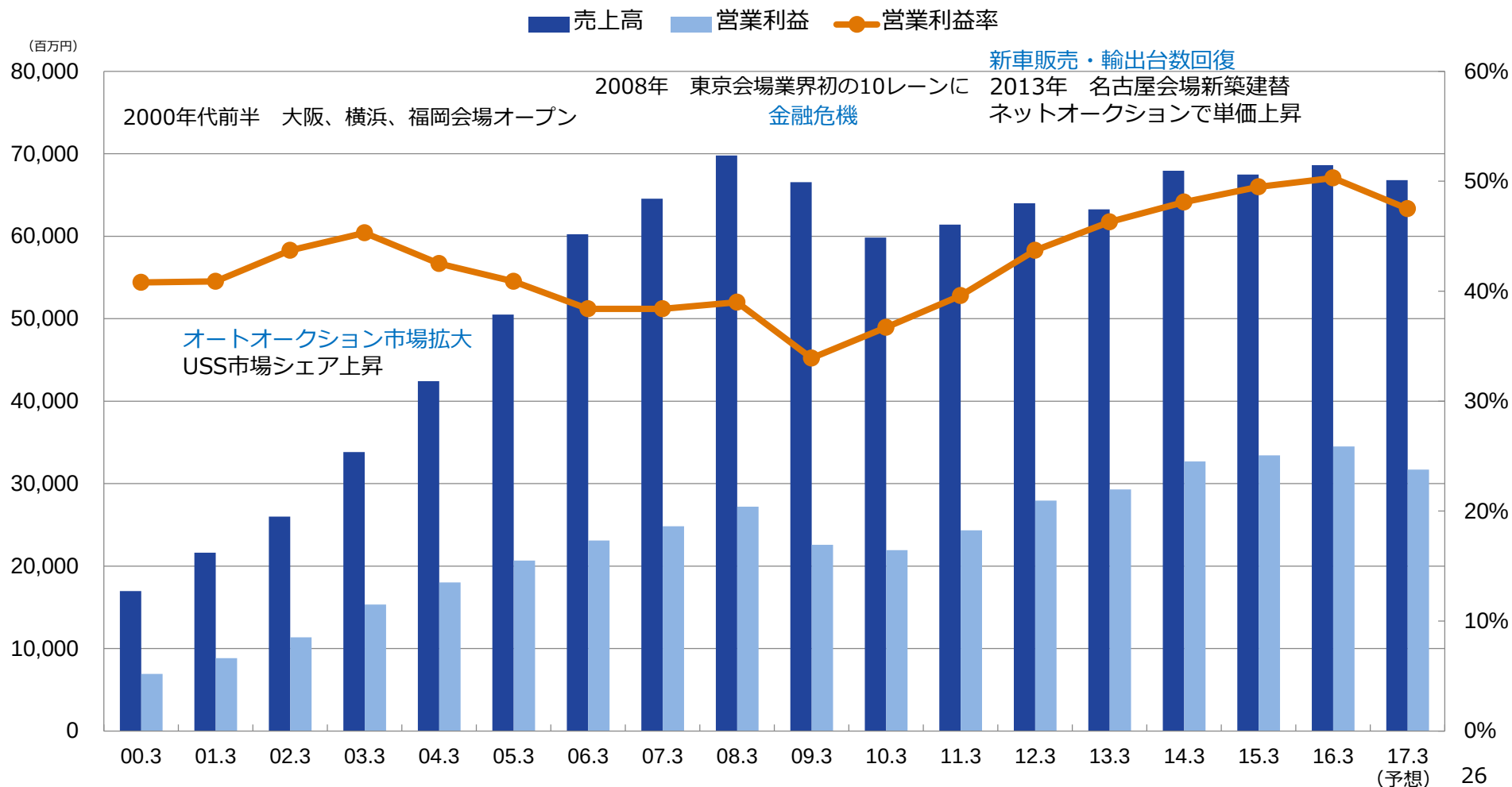
2000年以前の歴史

1982年 出品台数255台で第1回オートオークション開催。

88年 名古屋会場拡張 日本最大570席に

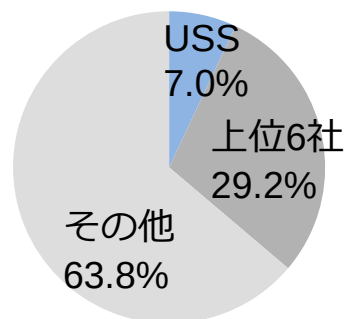
90年代前半 九州 東京会場オープン

90年代後半 岡山、静岡、札幌、西東京（現：埼玉）会場オープン

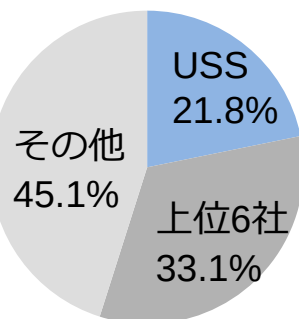


■金融危機(2008-2009年)以降、市場が伸び悩む中でも高シェアを維持しながら利益を拡大。

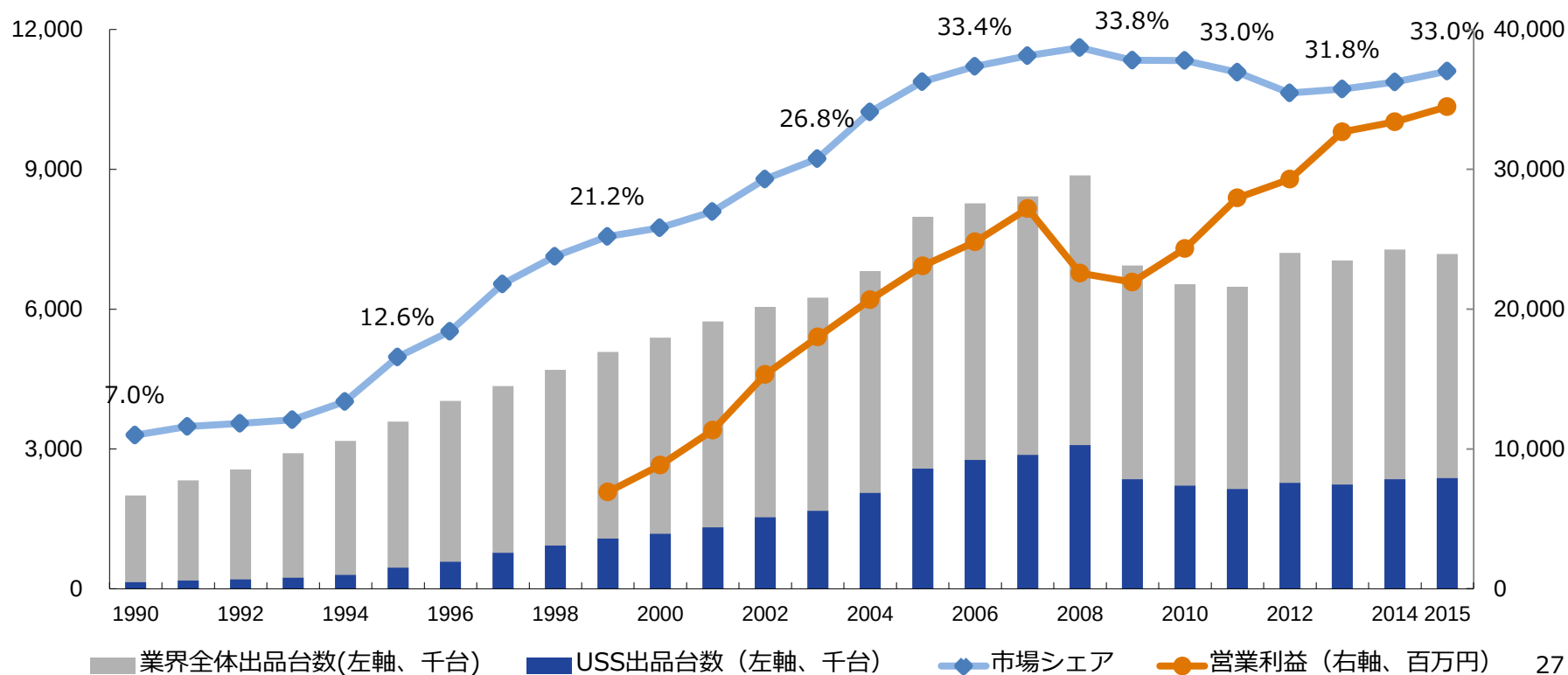
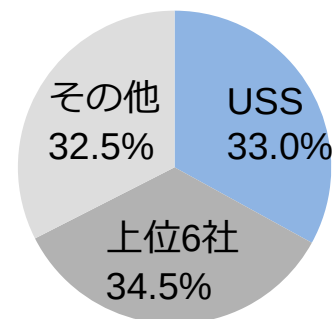
1990年（暦年）市場シェア



2000年（暦年）市場シェア



2015年（暦年）市場シェア

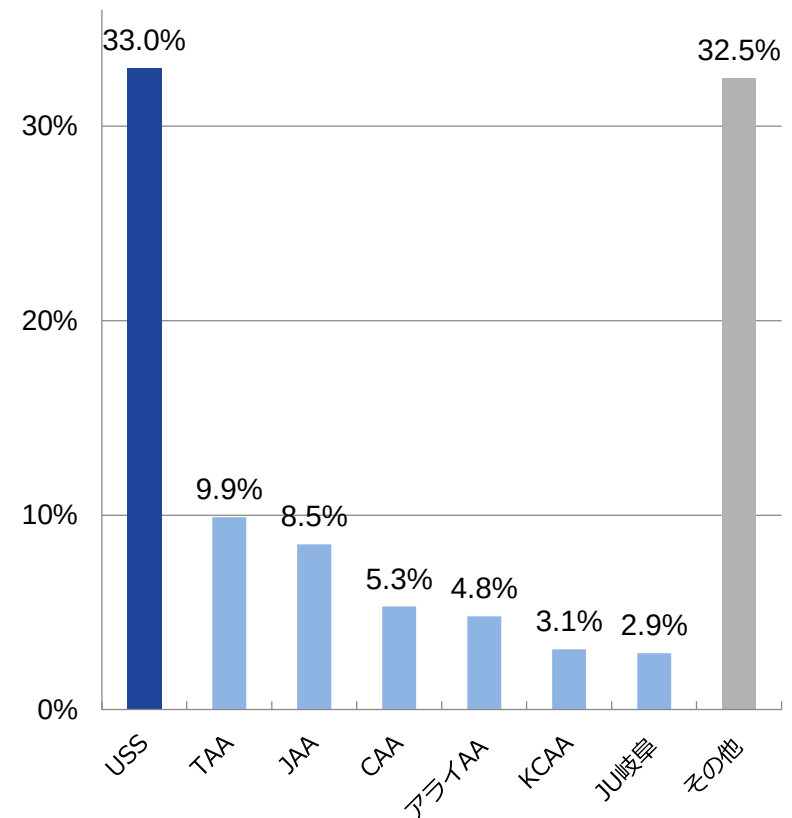


- 主要会場の競争力をさらに高め、オークション会場の再編とともに一段のシェア拡大を目指す。

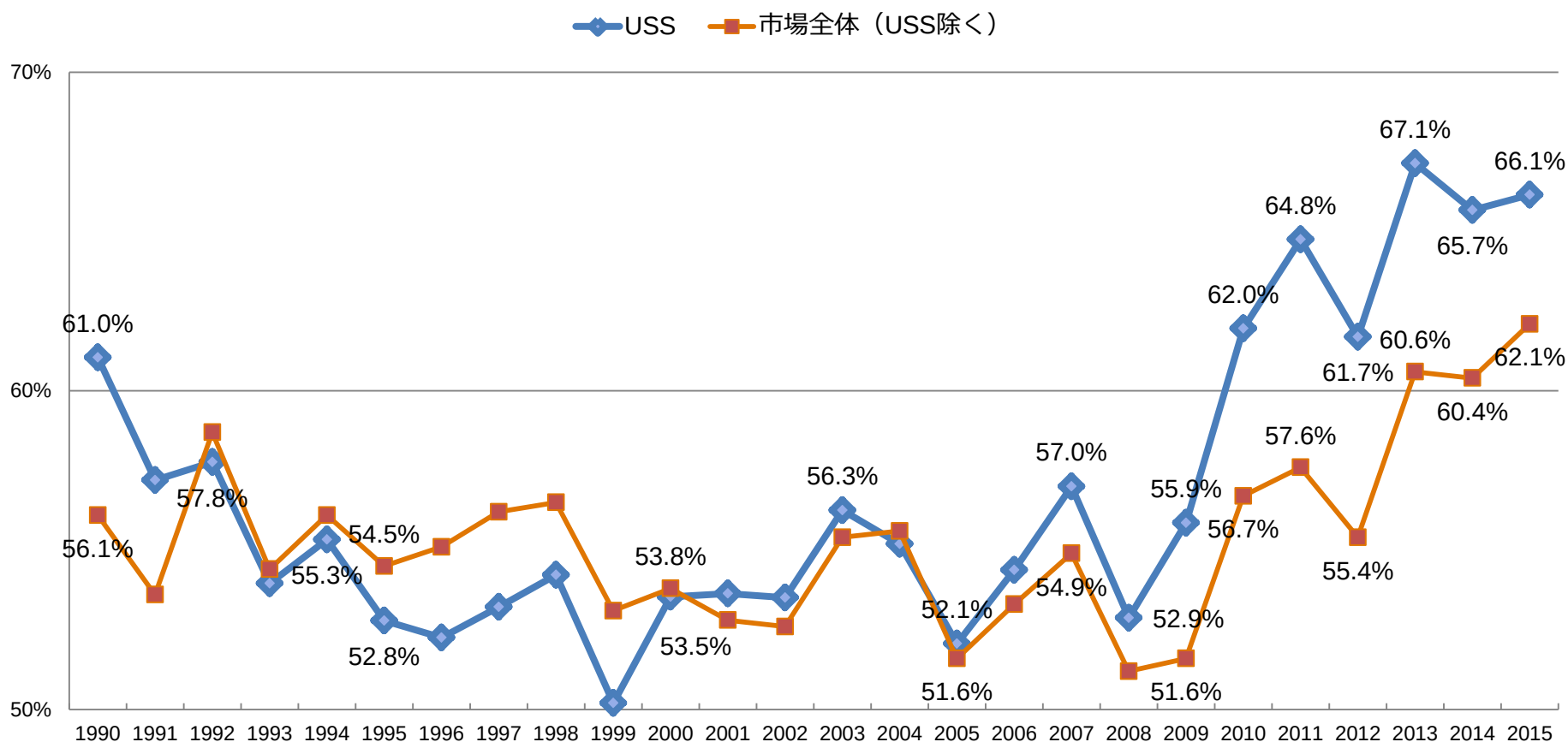
大手各社の概要

グループ名	会場数	概要
TAA	10	トヨタ自動車(株)100%子会社の(株)トヨタユーゼックが運営。トヨタ系列ディーラーからの出品が多い。全国10会場を展開。
JAA	2	(株)ジェイ・エー・エーが東京でJAA東京会場を、同社子会社(株)HAA神戸が兵庫でHAA神戸会場（国内第2位）を運営。
CAA	4	(株)トヨタユーゼックと資本業務提携し、愛知、千葉、岐阜、岩手で運営。TAAとシステムを共有化。
アライAA	4	荒井商事(株)（神奈川県平塚市）が宮城、栃木、神奈川、福岡で運営。
KCAA	4	(株)九州中央オートオークション（福岡県古賀市）が宮崎、福岡、山口、京都で運営。
JU岐阜	1	(株)JU岐阜羽島オートオークション（岐阜県羽島市）が運営。
その他	-	JU系、企業系、メーカー・ディーラー系オートオークションで全国約70会場。市場シェア32.5%（2015年暦年）。

2015年の市場シェア



- インターネット外部落札システム(CIS)の充実による外部落札の増加。
- 出品台数のみを追わない成約率、成約車両単価重視の戦略を徹底することにより、2008年の金融危機以降、市場平均を上回る成約率を実現。



■国内新車販売：中期的にも大幅な拡大は見込み難い。

- USSの戦略

1) 2017年3月期までの約2年間で総額200億円の設備投資を計画。

➡各会場で会員様の利便性を高め、オークション参加につなげる。

➡大規模会場（東京・名古屋）に経営資源を集中し、成約率の更なる向上と市場シェア上昇を目指す。

2) 成約率を重視した価格（手数料）戦略を維持する。

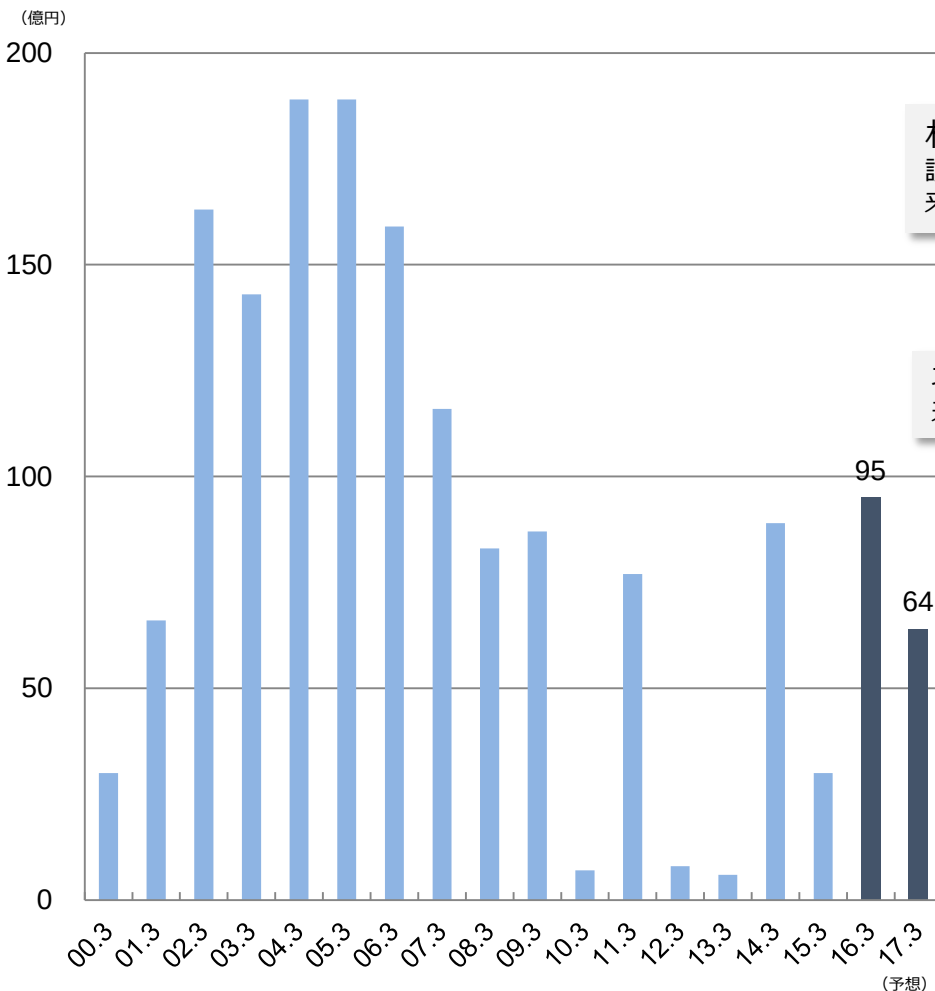
■中古車輸出：短期的には、新興国経済成長鈍化、輸入規制等の影響で厳しい環境

- USSの戦略

1) 中期では、中央・南アジア、アフリカ、ロシア等における人口増、経済成長の余地は大きい。

➡車検制度のある質の高い日本の中古車の輸出拡大を期待。

設備投資（完工ベース）の推移



今後の投資計画

2017年3月期までの約2年間で200億円を投資し
更なる競争力強化へ

札幌会場 **新築建替**
設備投資額約30億円
来春稼働予定

北陸会場 **新築移転**
来期以降稼働予定

静岡会場 **新築建替**
設備投資額約16億円
2016年5月14日オープン

東京会場・横浜会場
最新オートオークションシステム導入
設備投資額約20億円
東京 今期中稼働予定
横浜 2016年8月稼働

名古屋 **立体ストックハウス新築**
設備投資額約77億円
2016年2月15日稼働

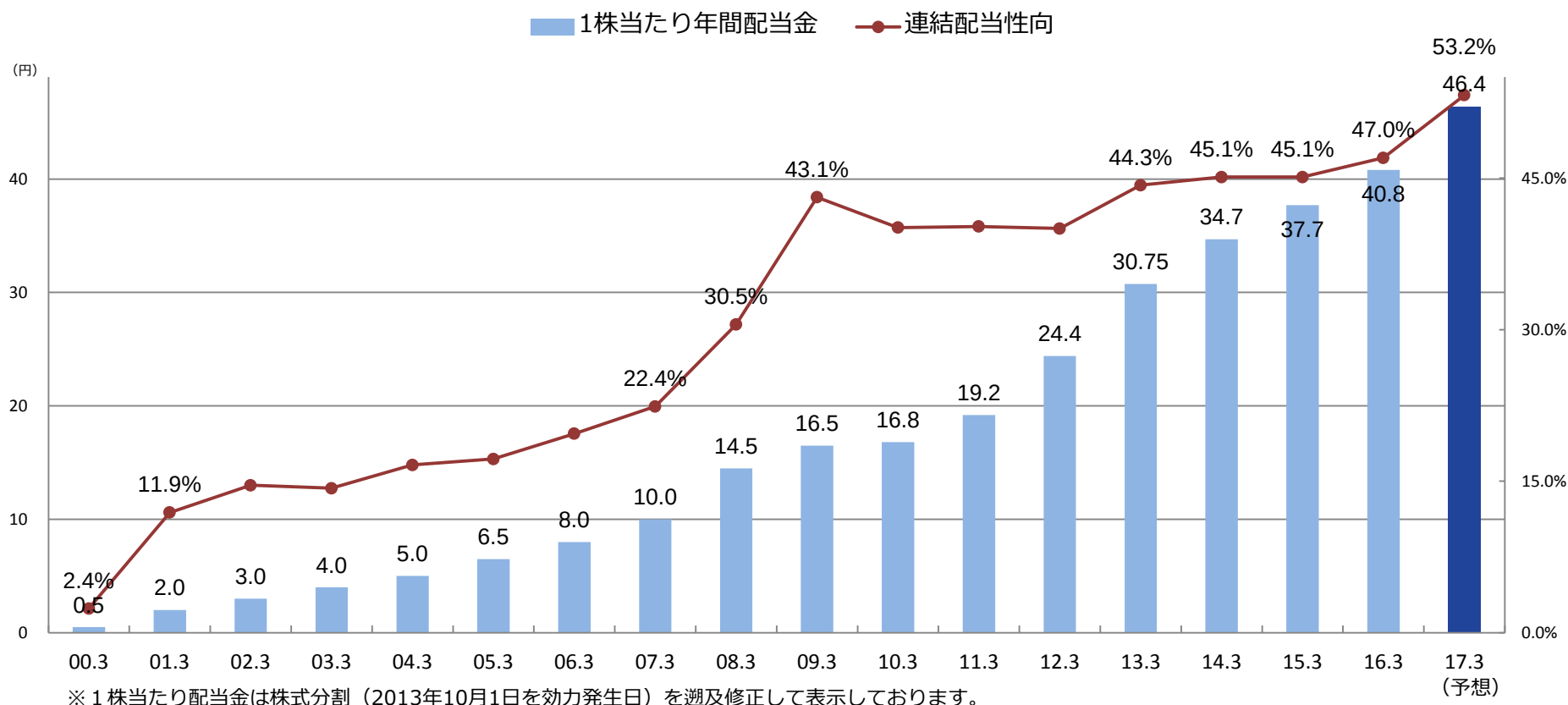
R名古屋 **新築移転**
設備投資額約15億円
2016年7月26日オープン

成長投資とともに株主還元の充実を継続

- 連結配当性向：2017年3月期から**50%**以上へ。（従来45%から引上げ）
- 自己株式取得：キャッシュ・フロー、設備投資計画、市場環境等を考慮のうえ、機動的に実施。
（2016年3月16日から7月1日まで500万株/86億円の自己株式を取得済み）
- 株主資本利益率（ROE）：中期的に15%以上の持続を目指す。

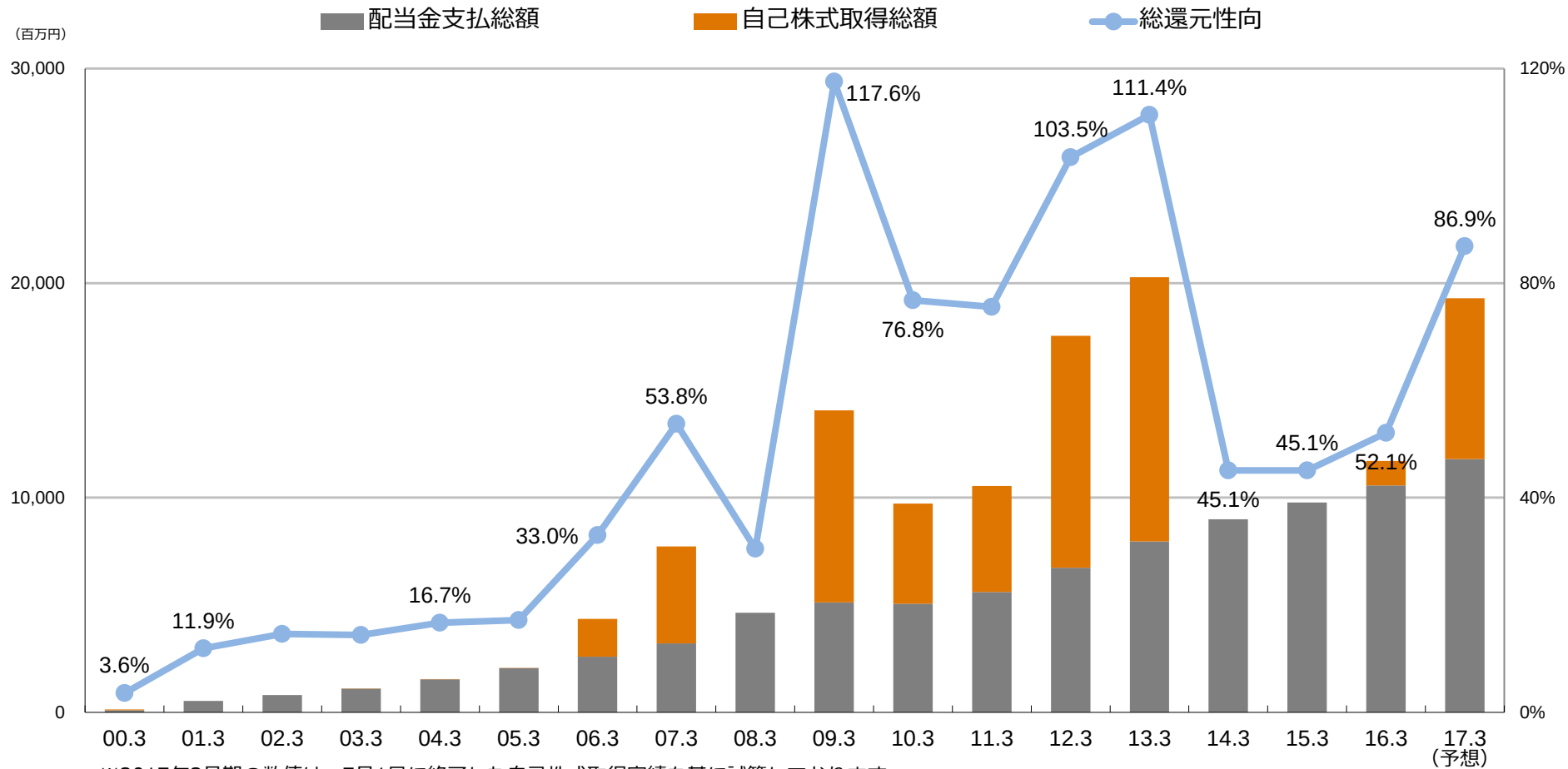
■2017年3月期の1株当たり年間配当金：
連結配当性向引き上げに伴い**46.4円**（前期比5.6円増）を予想。
（当初計画（5/9発表）から変更なし）

■株式上場以来**17期**連続増配予想。



株主還元：総還元性向

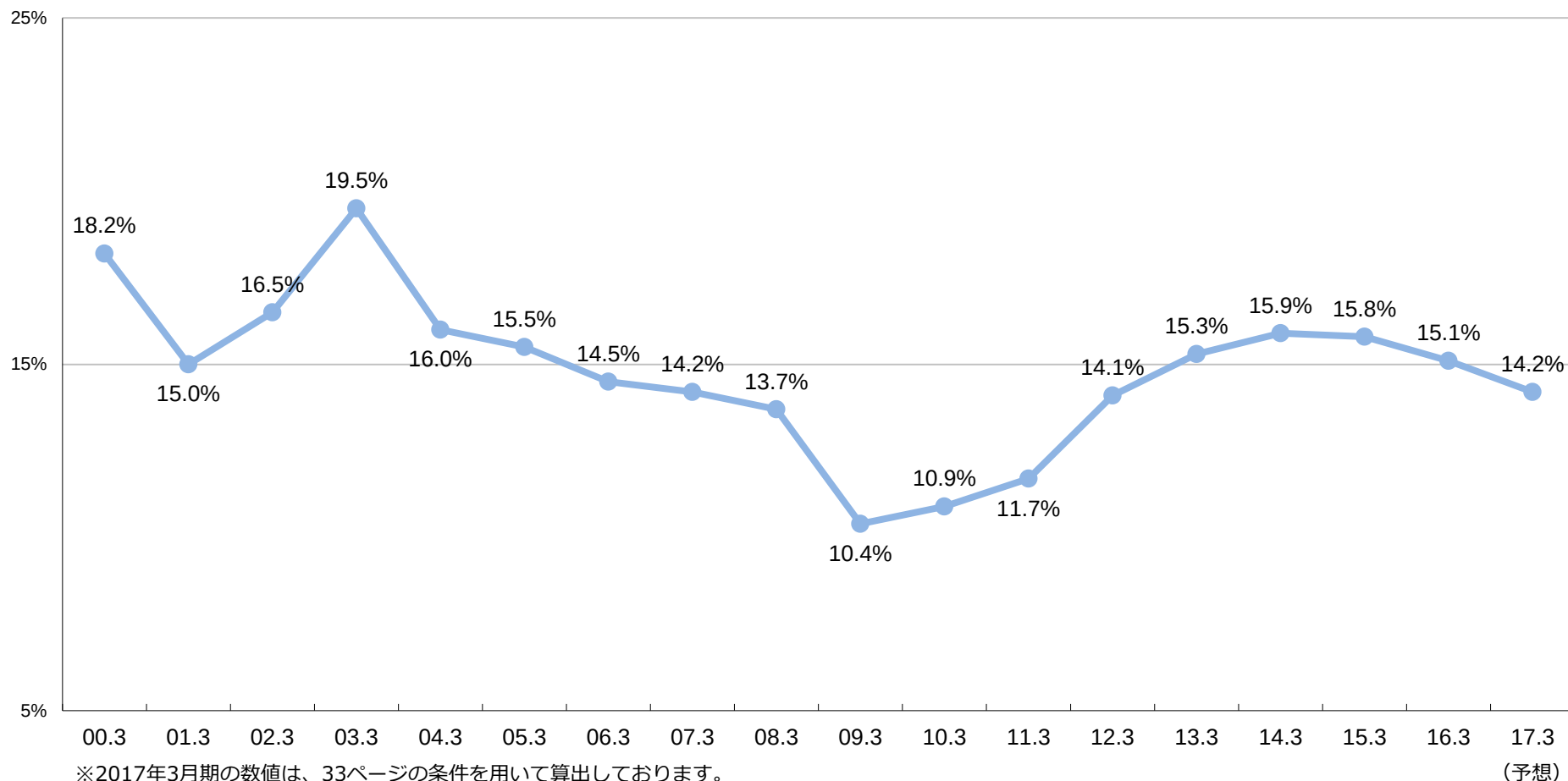
- 安定的な配当増とともに、機動的な自己株式取得を実施。
- 2017年3月期の総還元性向は、86.9%となる見込み。



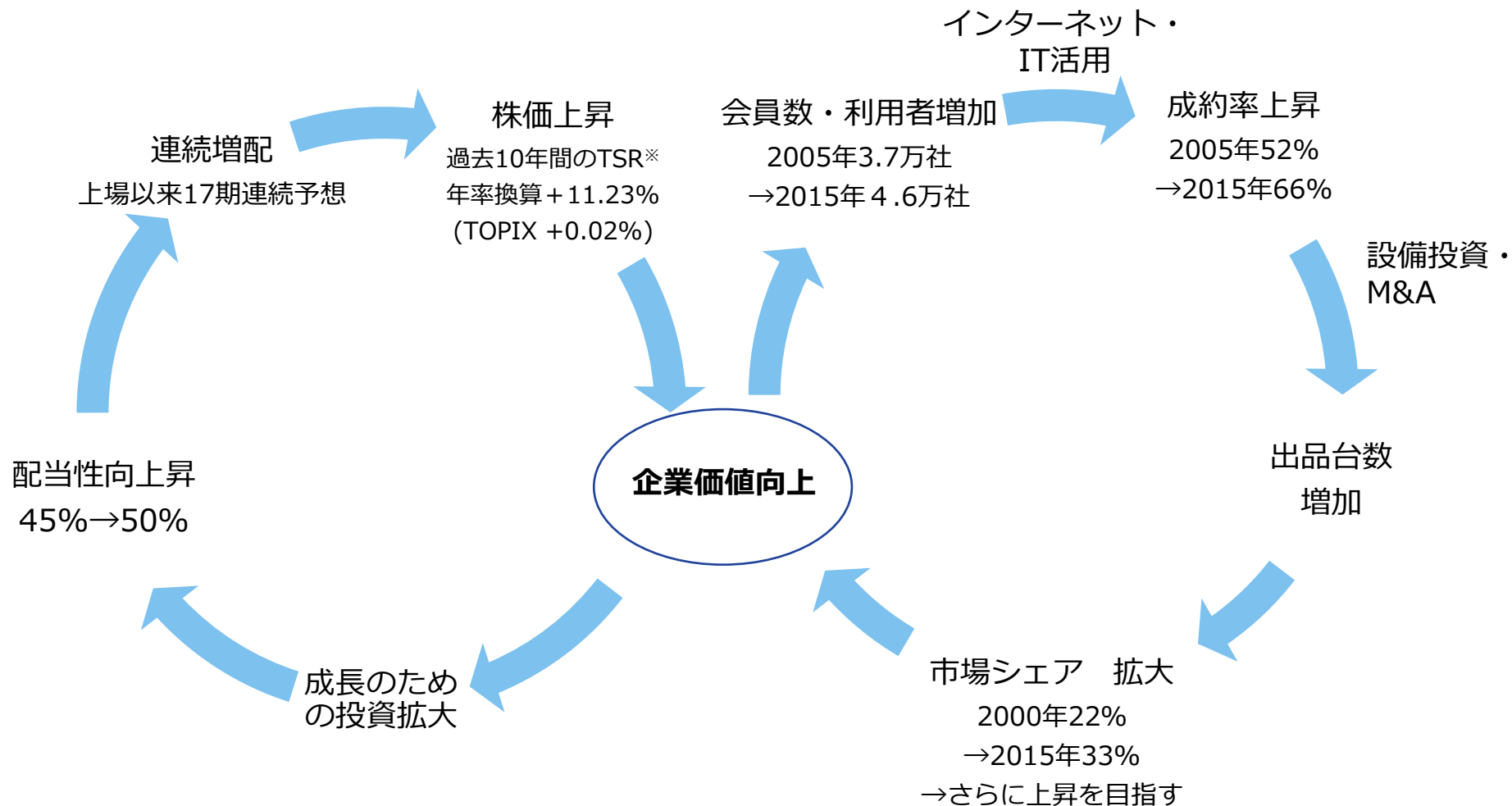
■減益予想により、2017年3月期のROEは15%を下回る見込み。

■中期的に15%以上の水準を目指す方針は不変。

ROEの推移



■成長投資と株主還元の両輪で株主価値の向上を目指す。



- 継続的な事業拡大を通じて企業価値の増大を図ることを経営の目標に、ガバナンス体制の充実を図ってきた。
- 2012年度より執行役員制度の強化
- 2015年度より指名・報酬委員会設立
- 取締役・執行役員に対するストックオプション制度（2007年度より）

年度	2004	2006	...	2012	...	2016
取締役の数	12名	18名	→	12名	→	10名
うち社外取締役		4名	→	4名	→	3名

社外取締役制度導入

執行役員制度の強化

指名・報酬委員会設置

2016年11月現在
 取締役10名（うち独立社外取締役3名）
 監査役3名（うち独立社外監査役2名）
 執行役員5名